

掲載日: 令和7年5月14日

常勤教員の募集について

埼玉大学大学院人文社会科学研究所では、「メディア研究」もしくは「社会学」を担当する准教授、講師、または助教を募集しています。募集内容は次のとおりです。

【募集内容】

職 務 内 容	(雇入れ直後) 教育・研究及び大学運営等に関すること (変更の範囲) 変更なし
所 属	学術院 ※埼玉大学では全ての教員が学術院に所属し、担当部局(人文社会科学研究所及び教養学部)において教育・研究を行います。
研究部門・領域	社会学領域
専 門 分 野	メディア研究 もしくは 社会学
担 当 科 目	・学部:「メディア文化論」もしくは「社会学特殊講義」に加えて、「社会調査実習」(いずれも仮称)などの講義科目や演習科目。また、全学の教養・スキル・リテラシー科目、学部のアカデミック・スキルズ、情報基礎科目など、初年次科目をご担当頂くことがあります。 ・大学院: 上記専門分野に関連する博士前期課程の科目。なお、博士後期課程の科目をご担当頂くことがあります。
募 集 人 員	1名
応 募 資 格	(1)着任時に博士の学位を有する方、もしくはそれと同等の研究業績を有する方 (2)上記専門分野において、高い意欲と優れた業績(研究論文、受賞など)を有する方 (3)社会学的な手法を用いた社会調査に基づく、優れた実証研究の業績を有する方 (4)学士課程および博士前期課程で、社会学関連科目、もしくは社会学を基盤とするメディア研究関連科目の講義を担当できる方 (5)社会調査実習を担当できる方。質的な社会調査に関する知識と経験を有し、社会調査協会の専門社会調査士資格またはそれと同等の海外の資格を有することが望ましい (6)情報基礎に関する授業を担当できることが望ましい (7)大学もしくは大学院において、論文指導の経験があることが望ましい (8)英語による授業を担当できることが望ましい (9)研究、教育及び研究科や学部を含む大学の運営に熱意があり、業務に支障のない程度の日本語能力を有する方 (10)本学に通勤可能な地域に居住できること (11)国籍、性別は問いません。なお、本学は男女共同参画に賛同しています。
雇 用 期 間	着任予定日: 令和8年4月1日 准教授、講師 ・期間の定め: 無(本学教員の定年は65歳) 助教 ・期間の定め: 有(5年間: 令和8年4月1日～令和13年3月31日) ・契約の更新: 有(ただし、業績審査に基づく) ・更新の上限: 有(助教の場合のみ1回限りとし、任期は2年の範囲内とする。) ※業績審査により契約期間の定めのない教員とすることがある。
試 用 期 間	採用の日から3ヶ月間
勤 務 時 間	国立大学法人埼玉大学教職員の労働時間、休暇等に関する規則による。
勤 務 地	(雇入れ直後) 埼玉大学大久保キャンパス (変更の範囲) 変更なし
休 日 等	土・日曜日及び祝日(授業日数確保のための勤務日及び入試関連業務を除く)、祝日勤務の振替日 年末年始(12/28～1/3)
給 与	年俸制(国立大学法人埼玉大学教職員特定年俸制給与等規則に基づき支給)

諸 手 当 等	・通勤手当 ※通勤手当は実費相当分を全額支給(上限あり、通勤距離が 2km 未満の場合は不支給) ※月の初日に就業していない場合は当月のみ通勤手当支給無し(翌月からの支給) ・業績手当 ・その他、住宅手当、扶養手当等あり(支給要件該当者のみ)
加 入 保 険 等	労災保険、雇用保険、文部科学省共済組合
雇 用 者	国立大学法人埼玉大学長
受 動 喫 煙 防 止 措 置	敷地内禁煙(屋外に喫煙所あり)
募 集 期 間	令和 7 年 7 月 31 日(木)まで
提 出 書 類	(1)履歴書(写真を含む) (2)外国為替及び外国貿易法第 25 条第 1 項及び第 2 項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書 (3)業績調書。研究業績が共著の場合は、応募者本人の執筆担当箇所を明記し、執筆者すべての名前を記して、応募者本人の名前にアンダーラインを引いてください。また、主要業績 3 点以内に○印を付け、このうち最も重要なものには◎を付けてください) ※上記(1)、(2)、(3)については、https://www.saitama-u.ac.jp/guide/recruit/index.html よりダウンロードしたファイルに従って作成してください。 (4)博士号の取得または最終学歴の証明書(卒業・修了証明書の写しなど) (5)主要業績 3 点以内(郵送の場合、各 3 部、コピー可)。また、その要約(それぞれ日本語で 400 字程度) (6)これまでの研究活動および今後の研究計画の概要(A4 用紙 2 枚程度) (7)これまでの教育経験の説明と、本学に採用された場合の教育の抱負(A4 用紙 2 枚程度)。 ①質的社会調査に関する科目あるいは社会調査実習を担当した経験がある場合には、授業内容と科目名を明記すること。 ②情報基礎に関する授業あるいは論文指導の経験がある場合は、その内容を明記すること。 ③英語での授業担当の経験がある場合は、科目名とその概要を明記すること。 なお、これまでに担当した授業のシラバス等、参考資料となるものがある場合は併せて提出してください。 ※書類提出方法 上記(1)～(7)を 1 つの PDF ファイル(印刷可能な状態)にまとめ、「JREC-IN Portal 電子応募」から提出してください。 ・ファイル名には、半角英数字でご自身のお名前を入れてください。 ・ファイルの容量が大きくアップロードができない場合は、複数のファイルに分けてください。 ・応募書類(5)について、書籍や論文で電子応募に適さないものがある場合は、当該書類のみ(3 部、コピー可)を簡易書留等、配達記録が残る形で、以下の問い合わせ先に郵送してください(封筒には朱書きで「メディア研究・社会学教員応募書類在中」と記載してください)。返送を希望される場合は返信用封筒(切手等を添付したもの)を同封してください。
書類提出期限	令和 7 年 7 月 31 日(木)必着
選 考 方 法	提出書類の審査(一次選考)で候補者を限定し、模擬講義も含めた面接(二次選考)を行います。交通費・宿泊費等はお出し致しません。選考の結果は追って本人宛に文書で通知します。なお、二次選考の面接に先立ち、追加資料の提出を依頼する場合があります。 また、選考の過程で本学が必要と認める場合、推薦者 2 人による意見書(日本語または英語)各 1 通の提出を求めることになります(対象者に個別連絡します)。
そ の 他	(1)大学院人文社会科学部研究科では、新規採用教員に、研究環境整備のため交付金(定額)を配分します。 (2)この選考の実施において提出された個人情報、本人事選考以外の目的には使用しません。

<書類提出先・問合せ先>

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255
 埼玉大学大学院人文社会科学部研究科支援室
 教養学部係分室

E-mail kyoyou-bunshitsu@gr.saitama-u.ac.jp

※メールの表題を「メディア研究・社会学教員
 公募について」としてください。